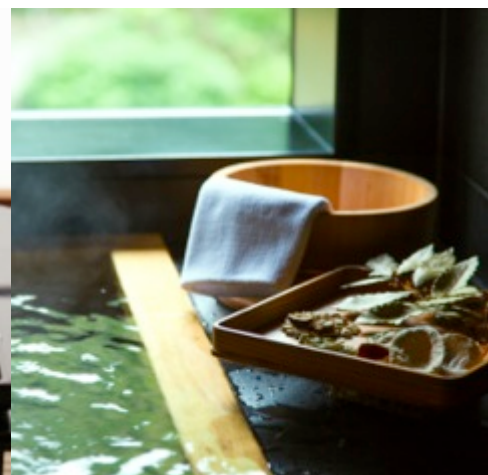
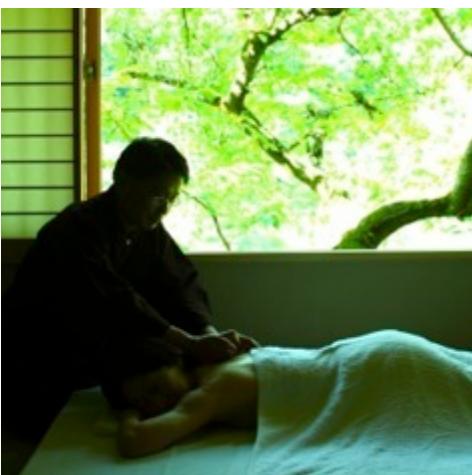


自分だけの雅な香りに出会う旅 薫る男の一人旅



星のや 京都ではこの夏、平安の時代から香道の文化が根付く京都で、雅な自分だけの香りに出会う旅にご案内します。都会の喧騒から離れ新緑の爽やかな奥嵐山で、香りをテーマにした癒しの休日を送ってみてはいかがでしょうか。

Noble Perfume 01

東洋医学の知恵を使った オーダーメイドのプログラム

東洋医学専門の医師が事前の問診で体調や体質を判断し、診断に基づいておひとりおひとりに合わせたご提案をいたします。草根木皮の湯を使用する入浴方法やお茶などで、まずは身体全体を整えていきます。また生活習慣改善プログラムや草根木皮のお茶のお土産もお渡しします。ご自宅に帰られてからもじっくりと自分の身体と向き合うことができます。



Noble Perfume 02

鍼灸・按摩マッサージで五感を研ぎ澄まし 繊細な香りの世界を体験

働く男性は仕事、プライベートと忙しい日常の中で、思った以上に身体の疲れがたまり、感度も鈍くなりがちです。鍼灸・按摩マッサージを通して自らの心と体に向き合う癒しのひとときを過ごしてみてもいいでしょうか。身体をリラックスモードにし五感が研ぎ澄まされた後に、繊細な香りの世界に誘います。



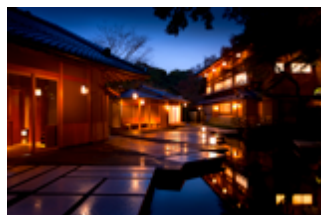
Noble Perfume 03

香りのプロに学ぶお香体験で 自分だけの香り作り

京都では平安時代から自分の好きな香りを調合し、自分だけの香りを作る文化が残っています。今回は実際に京の香木業の老舗「山田松香木店」にて、ご自身で香り作りを体験いただきます。繊細な香りの香木を組み合わせ、プライベートやビジネスシーンなど、用途に合わせた自分だけのオリジナルの香りを作ってみられてはいかがでしょうか。作った香りは文香にして名刺入れに忍ばせるのもおすすめです。



■期間：7月1日～8月31日 ■料金：95,000円（税、10%サービス料別） ■含まれるもの：漢方の入浴剤、草根木皮のお茶（滞在中2種類1回ずつ。お好みのお茶を後日お土産として30包配送）、鍼灸・按摩マッサージ60分、山田松香木店でのお香作り体験



星のや京都

古よりの王朝貴族の清遊地、京都・嵐山。百人一首で知られる小倉山と嵐山の峡谷に佇む水辺の私邸。進取の気風ある京料理、四季の美しい景観と静けさの非日常の世界を楽しんでいたける京都のリゾートです。

このリリースに関するお問合せ
星野リゾート グループ広報

TEL：03-5159-6323 FAX：03-6368-6853

E-mail：pr-info@hoshinoresort.com

薫る男の一人旅 補足資料

滞在スケジュール一例

-1日目-

- 15:00 チェックイン
- 16:00 問診で体調・体質を診断
- 16:30 問診結果に従って鍼灸、マッサージ1h
- 17:30 草根木皮のお茶で身体を休める
- 18:30 五味自在の日本料理を堪能
- 21:00 Salon&Bar蔵で日本のウイスキーを堪能
- 22:00 疲労を和らげる草根木皮の湯で入浴
- 23:00 お香の香りに包まれながら就寝

-2日目-

- 7:00 起床
- 8:30 野菜たっぷりの星のや朝鍋朝食
- 9:45 草根木皮のお茶でご一服
- 10:00 チェックアウト
- 11:00 山田松香木店でお香作り体験

漢方の入浴剤 一例

・松葉

一肩こり、腰痛の方におすすめで
疲労を和らげる

・クマザサ

一胃が荒れやすい方、口臭や口内
炎でお困りの方におすすめ

・ハトムギ茶

一ビタミンB1やB2、ミネラルな
どにより新陳代謝を促す

草根木皮のお茶一例 (1日目)

・松葉

一肩こり、腰痛の方におすすめで
疲労を和らげる

・クマザサ

一胃が荒れる、口臭や口内炎でお
困りの方におすすめ

・クコ

一高血圧や貧血、めまいが多いの
方におすすめ

草根木皮のお茶一例 (2日目)

・サンザシ

一胃や腸を助け、不要なものを排
出し体を元気にする

・シソ

一殺菌や発汗を促す

・生姜

一体を温め、胃の働きを助け、整
える



安藤漢方薬局

草根木皮の入浴剤やお茶を作る。

嵐山の地に店舗を構える漢方薬・自然薬による免疫強化療法の相談薬局。

虚したカラダを補い、不要なものを解毒し捨てる。環境汚染や遺伝子組み換え食品の問題、代謝されにくい農薬や抗生剤など化学薬品の弊害を知るにつけ、古来より伝えられた「生薬」（草根木皮、動物生薬など）の力を利用し、あらゆる年代の方に安心して服用いただける処方提案している。

山田松香木店

江戸・享保年間に薬種業を始め、其の後、明和から寛政年間にかけて、薬種の扱い品目を香りに特化し、香木・芳香性薬種（香原料）を中心とする香木業に移行。

現在、香木業として、平安時代より続く「日本の香り文化」を、その発祥・発展の地で正統に伝承することを社是とし、同時に薬種業（香松屋）も継続している。